

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災による津波の大被害・福島第一原子力発電所の原子炉事故被害と、嘗て経験したことの無い大災害にみまわれました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。東北の復興には時間が掛かるでしょうが、国民みんなで応援したいと思えます。

世界ではチュニジアで始まった長期独裁に反対する民主化の波がエジプト・リビアへと波及し“アラブの春”として中東の他の独裁国家を揺るがしています。

又、ヨーロッパではギリシャに端を発した財政危機が、イタリア・スペインへと波及し、ユーロ圏全体の信用不安へと広がっています。

世の中の流れは昔に比べると格段に早くなっています。それに反し日本の政治は停滞し、良い方向へ向かっているとは思えません。重要事項は先送りせずにスピード感をもって解決し、若い人たちが希望を持てるような日本の将来像を示して欲しいものです。

いま国では環境問題を絡めて国産材の使用に力を入れて推奨しています。荒れ果てた森林を整備することにより、林業の活性化、河川の浄化、良好な漁場の確保等良い循環となります。東日本大震災の仮設住宅にも一部ではありますが在来木造が採用されました。従来の仮設住宅はプレハブしかなかったのが今回が初めての採用です。住み心地はプレハブとは格段の差があるので入居希望者は木造に殺到したそうです。これからは木造の公共建物も増えてくると思います。

福島原発の事故でエネルギー問題がクローズアップされましたが、住宅も更に省エネルギー化へ進むと思われれます。住宅に省エネ基準の義務化がされていないのは先進国の中では日本だけだそうです。国土交通省は2020年までに義務化をする準備に入りました。

IKEHOUSEは、広島県の県産材モデル展示場事業に参画し、こころに常設展示場“つながりの家”を2010年3月にオープンさせ、省エネ基準も温熱等級4等級を2008年1月にIKEHOUSEオネスティとして個別認定を取得しております。常に一歩先を見据えて努力し、お客様に満足いただける家造りをとを考えています。

2012年のIKEHOUSEは、昨年同様“感動”をキーワードとし、住み心地をバージョンアップさせ、更に“心地よい住空間”の追求をしまります。

今年もIKEHOUSEを宜しく願い申し上げます。

新年が皆様にとりまして、ご多幸の年となりますようご祈念申し上げます。

2012 元旦

IKEHOUSE

株式会社 池芳工務店

代表取締役 池田 和好